

2022年9月9日(金) 第2888回例会 形式:対面 天候:晴れ
合唱:それこそロータリー

会長 青木 義美 幹事 室伏 学

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716 例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

青木 義美

今日は例会欠席で申し訳ありません。実は半年くらい前からこの日に飛鳥1週間クルーズを申込みしてありましたが、クルーからコロナが出て中止となってしまいました。飛鳥の気の合う仲間が乗船日に集まって「1杯やってから乗船」というパターンがお決まりでしたが、今回中止の為、一杯会だけはやろうという事になり、今日神戸へ1泊してまいります。そんな訳で例会欠席になってしまい、伊藤副会長にはお手間かける事になりました。ごめんなさい。

さて、今週月曜日に2780地区の大ゴルフコンペが相模原カントリークラブで開催されました。60組240名もの参加でしたが、第9グループからは柴崎ガバナー補佐クラブと我々だけでした。もちろん例のクラブからは誰も参加されていませんでした。高いグリーンフィーでしたが、望月、渡辺、吉村会員に同行して頂き、湯河原クラブの面目をたてる事が出来ました。雨はまぬがれましたが、クソ暑く熱中症の一步手前でした。望月さんがベストグロにもかかわらず優勝こそ逃しましたが、4位入賞出来ホッとしました。私もなんとか皆さんの足を引っ張らずにすんでやれやれでした。

朝5時出発の運転手の渡辺氏はじめ、御同行の皆さんありがとうございました。

尚、寄付の目安として 一人当たり 1,000 円以上をお願いいたします。できる限り、9月20日までにお送りいただきますようお願い申し上げます

2.「2022 新型コロナウイルスに関する地区ガイドライン」をお送りいたします。

ご査収の程、どうぞよろしくお願いいたします。

3.2021-22 年度 地区資金会計報告・監査のご報告

連絡事項 なし

スマイル Box

石川浩子君

中村吉右衛門一周忌追善歌舞伎に行ってきました。

望月博文君

国際ロータリー2780地区ゴルフ大会においてベストグロス・第4位入賞いたしました。

卓話

丸塚 順子 君



こんにちは。今回の卓話では「基本的教育と識字率向上月間」についてお話させていただきます。

1.9月8日は国際識字デー

「国際識字デー」は 1965年9月8日から、イランで開催された「テヘラン会議」で、当時の国王が各国の軍事費の一日分を、非識字者の為

の識字基金に拠出するよう提案したのがきっかけです。会議の後に、米国の当時のジョンソン大統領が米国会議において、

出席報告

会員	23 名	出席率	80.95 %
欠席	6 名	前回の修正出席率	77.27 %
(免除者)	1 名	前々回の修正出席率	90.91 %
ゲスト	0 名	事前メイクアップ	0 名
ビジター	0 名		

幹事報告

ガバナーより

1.青森県大雨災害への義援金協力依頼

「テヘラン会議」を忘れないため、また、ユネスコの識字教育への貢献に感謝の意を表して9月8日を「国際識字デー」に制定するように呼びかけました。

2. 教育の支援

日本では中学まで義務教育とされており、字の読み書きができないということが想像しがたいですが、世界には読み書きのできない15歳以上の人の数は約7億7500万人もいます。これは全世界の成人の17%にあたります。また、学校に通っていない、通える環境にいない子どもは世界に6700万もいると言われています。地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高められるよう支援することがロータリーの目標です。

3. 識字率が低い事で起きる問題

何故、識字率を高める事が大切なのかですが、まず、字が読めないと生活に必要な正しい情報を得る事ができません。文字を正しく理解できなければ、インターネットがあっても情報を手に入れられません。生活に必要な正しい情報が得られなければ、予防接種などの公的サービスを知らないまま、正しく利用する事が出来ません。また、選挙の情報が手に入らず投票できず、政治に参加する事ができません。そして、何より他の地域の暮らしを知らずに、いまの貧しい生活が当たり前だと思込んでしまいます。

そして、文字が読めないと、情報があっても地雷や立ち入り禁止エリアなどの警告が理解できなかつたり、人から聞いた情報が正しいか判断できずに詐欺に合ってしまう機会が増えてしまいます。また、私たちは当然のように薬を服用する時に処方箋を読みますが、字が読めなければ、正しく薬を服用する事もできず、命を落とす事にもなりかねません。また、文字が読めないと成人しても仕事を選ぶ事ができません。文字の読み書きができないと仕事に必要な技術や能力を身に付けられません。結果、安定した職業に就くことができず、貧困から抜け出す機会を失ってしまいます。文字を使わない仕事に限定されるため、単調な仕事や命の危険にさらされる仕事に就かざるを得ない人もいます。識字率が低い国ほど貧困に陥ってしまいます。

4. 世界の識字率ランキング(ユニセフ発表)

ここでお手元の資料「ユニセフが発表した世界の識字率ランキング」をご確認ください。残念ながら、日本の識字率は99%でトップ10圏外(28位)となっています。又、世界平均は85.9%です。統計を取った年が違ったり、統計の対象でない国もあったりしますが、識字率ワースト10か国では50%以上の人が非識字者です。識字率が低い国は、発展途上国ばかりで、貧困の悪循環となっています。

5. 「基本的教育と識字率向上」分野におけるロータリー財団の目標

このような世界の背景から、ロータリー財団では基本的教育と識字率能力をすべての人々に与えるために地域社会の力を高めるプログラムの支援をし、成人の識字率の向上を目指しています。また教育における男女格差を減らすための活動や基本的教育と識字率向上に関連した仕事で活動していくことを目指す、専門職業人のための大学院レベルの奨学金支援を行っています。

6. ロータリーによる活動の例

ここで実際にロータリーが行った活動の例を紹介していきます。

・**学校建設**:アフガニスタンでは貧困の連鎖を断ち切り、教育の不平等をなくすために、RI会員が女子学校をつくりました。

・**成人のための教育**:アメリカのデトロイトでは、成人の半数以上が十分な識字力を持たないと言われているそうです。そのような状況から、地元のNPO「ProLiteracy」と協力して成人への個人指導を行う講師を募集し、研修を実施しました。

・**教師への指導**:南アフリカ、プレトリコでは米国で採用されているSOUNDSプログラムを導入し、教師達に指導しているそうです。これは、子供たちが文字を名前ではなく「音」で覚えるための教授法だそうです。

・**きれいな水**:レバノンでは、生徒たちが元気に授業を受けられるよう、全ての公立学校にきれいな水を提供する設備を整えたそうです。

・**質の高い教育**:ケニアでは、貧しい子供たちがより質の高い教育を受けられるようGPE(教育の向上とジェンダーの公平さを推進する複数のステークホルダーのパートナーシップに基づく国際基金「教育の為のグローバルパートナーシップ」)及び政府と協力をしています。

今年1月に開催されたロータリー国際協議会でGPEのアリス・オルブライトCEOは「私たちは手を取り合い、女兒や貧困地域の子供たちの生活をより良くしています。ロータリーは独自の声を持ち、世界を舞台にほぼ全ての国で活動しています。皆さんはその声を使って女兒や子供たちを守り、リソースの公平な配分を政府のリーダーに呼びかける事が出来ます」と述べました。

最後にロータリークラブ会員のMark Wilsonさんの言葉です。

「読み書きを教える事は一生使えるスキルを教える事です。その恩恵はひとり、またひとりと、地域全体に波及します」

ご清聴ありがとうございました。

(文・編集:葉維英(9月会報担当)/クラブ会報委員会)